

学校行事が生徒の人格形成に及ぼす影響について

(4) 集計・課題

筑波大学駒場中・高等学校 生徒部

鹽谷 健・岡崎 勝博・入江 友生
遠藤 正之・小澤富士男 合田 浩二
高橋 宏和・根本 節子・平原 麻子

学校行事が生徒の人格形成に及ぼす影響について

(4) 集計・課題

筑波大学駒場中・高等学校 生徒部

鹽谷 健・岡 勝博・入江 友生
遠藤 正之・小澤富士男・合田 浩二
高橋 宏和・根本 節子・平原 麻子

1. はじめに

本校では、「駒場水田」を利用した勤労体験学習、校外学習、音楽祭、体育祭、文化祭、ロードレースなど、年間を通じてさまざまな学校行事が位置づけられており、またその取り組みは中・高6か年教育の中でも位置づけられている。

多くの生徒は教科の学習による「観」の形成とともに、学校行事に参加する中で人格の形成(自分づくり)を行っている。これらの学校行事が生徒の自分づくりに影響を及ぼしていることは理解されるのであるが、それがどのような過程で、またどのように影響を及ぼしているのかについては十分に明らかにされていない。そこで、文化祭、音楽祭、校外指導の3行事に焦点を当てて全校生徒に対するアンケートを採り、これらの行事が生徒の人格形成に及ぼしている影響を明らかにしようと調査してきた。調査の時期は平成7年(1995)同8年(1996)同9年(1997)の3年間。調査の対象とした生徒は中学生各学年約120人、高校生徒各学年約160人。アンケート項目は次の通りである。①どのように参加したか(積極的に参加して・まあまあ積極的に参加した・ふつう・どちらかという消極的な参加・全く消極的な参加) ②どのような役割を果たしたか(中心的存在・一緒に企画を進めている存在・与えられた仕事はこなす存在・仕事から逃げ回っている存在・全くかかわっていない存在) ③積極参加した理由は(おもしろいから・価値があると思うから・作ってゆく時の喜びや充実感が得られるから・うまくいった時の成功感が得られるから・友人との交流が楽しいから・普段の学校生活とは違う非日常的体験ができるから・自分の能力が発揮できるから・普段と違う自分が出せるから) ④消極的参加だったのは(内容がつまらないから・価値がないと思うから・疲れるだけだから・何となくやる気がしないから・思い通りのことができないから・失敗ばかりしてきたから・友人との交流がわずらわしいから・一緒に楽しめる仲間がないから・塾での勉強が遅れるから) ⑤満足度は(とても満足・わりと満足・ふつう・やや不満・かなり不満) ⑥満足の理由は(文化祭、校外指導=仲間

と協力して仕事をすることができたから・自分の持ち味が出せたから・自分の好きなことができたから・仲間との交流が深まったから・仲間から信頼を得られたと思うから・クラスのまとまりを感じることができたから・他の学年やクラスの取り組みが見られたから・先輩や後輩と一緒に活動ができたから・学校の自由な雰囲気が感じ取れたから。音楽祭＝歌うことが楽しいから・みんなで合唱するのが楽しいから・自分の能力が出せるのが楽しいから・練習した成果が結果として現れるところが楽しいから・ほかのクラスと競争するのが楽しいから・練習の成果を発表することが楽しいから・難しい課題に挑戦するのが楽しいから・自分の音楽の能力が高められてゆくのが楽しいから）⑦不満の理由は（好きなことができなかったから・能力があまり発揮できなかったから・仲間との関係がうまくゆかなかったから・信頼できる仲間が少なかったから・クラスのみんながまとまらないから・いやな仕事を押しつけられたから・どのデコ（発表団体）も内容がつまらないから・時間と労力がかかり疲れたから・最初からやりたくなかったから）⑧行事活動は人格形成にどの程度影響すると思うか（大いにある・少しはある・あまりない・全然ない）⑨人格形成の内容は（計画性・説得力・企画力・創造力・忍耐力・責任感・リーダーシップ・やり抜く力・調整力）

文化祭では他に次のアンケートも採った。⑩普段から本音でつき合える友人はいるか（もっている・少しはいる・あまりいない・全然いない）⑪行事活動は友人をよく知る機会となるか（そう思う・少しは思う・あまり思わない・全然思わない）⑫友人との交流は（いろんな人とつき合えるのがよい・日常より親密につき合えるのがよい・仲間での話し合いで感化されることが多い・仲間との連帯感が得られのがよい・普段思っている意見や悩みを話すことができるのがよい・普段の付き合いとあまり変わらない・人のエゴがよくわかる・自分と気が合う人と合わない人とがよくわかる・信頼できる人は誰だがよくわかる）⑬行事は学校の校風を学ぶ上で役立っているか（そう思う・少しは思う・あまり思わない・全然思わない）⑭行事活動のどんな点で校風を感じるか（企画に自分たちの意見が反映される点・みんなで話し合いながら進めることができる点・教師が生徒の自主性を尊重してくれる点・学校での規則があまりない点・時間にゆとりがある点・企画の内容のレベルが高い点）

校外指導では別に次のアンケートも採った。⑮満足の内容（フィールドワークの楽しさがわかった・実際に現地で遺跡や伝統的な文化に触れることができてよかった・その地域の様々な人から話が聞けてよかった・自分の意見・関心のあることが学習できてよかった・自分で問題意識をもって探求できたのがよかった・みんなで話し合いながら課題を深めたり広げたりすることができたのがよかった・みんなでスポーツ、登山、サイクリング、飯盒炊爨などができたのがよかった・みんなで宿泊し仲間と親しくなったのがよかった・学校を離れ気分が解放されたのがよかった）

3行事共通して、①と②との回答結果を相関して、5つのグループに分類し分析を試みた。5グループに名付けて、「積極推進派」＝①の積極的に参加した・まあまあ積極的に参加した＋②

の中心的存在・一緒に企画を進めている存在,「フォロアー派」=①の積極的に参加した・まあまあ積極的に参加した・ふつう+②の仕事から逃げ回っている存在・全くかかわっていない存在,「冷静派」=①のふつう・どちらかというと消極的な参加・全く消極的な参加+②の中心的存在・一緒に企画を進めている存在,「消極逃避派」=①のどちらかというと消極的な参加・全く消極的な参加+②の与えられた仕事はこなす存在・仕事から逃げ回っている存在・全くかかわっていない存在,「中間派」=①のふつう+②の与えられた仕事はこなす存在。

上記のようにして行事ごとの調査を終え、今回は「学校行事が人格形成に及ぼす影響」について行事ごとと学年ごととの集計をしてみた。

2. 各行事の特徴と、行事が人格形成に及ぼす影響との関連アンケート集計

(1) 文化祭

教師も生徒も生徒にとって最大の行事と受け止めている。

全校の運営は、生徒会自治会の下に高校2年生が中心となる実行委員会が行う。中学1年生から高校2年生までは学級単位の発表を義務づけた上で、特別参加団体を認めている。特別参加団体とは実行委員会承認の下、学級を越えて団体を作って発表するものをいう。文化系クラブ、興味関心を同じうする生徒の演劇団体などがある。クラブを除けば同学年の団体となりがちである。高校3年生は学級単位ではなく、学年全体を「ステージ班」「食品・縁日班」「喫茶班」「演劇班」の4班に分け、自由意志で1班を選び参加発表する。

各団体とも第1学期から話し合い、学期末には其の発表形態は決定する。夏休みには準備を始め、文化祭十日前からは、中学生は18:30、高校生は19:30までの特別残留をして完成を目指す。高校3年生は、文化祭が11月初であるにも関わらず、最後の行事として最も熱心に活動する。

文化祭活動には発表内容・発表形態の討議、工作、当日の発表とあって、仲間との交渉が多いので人格形成には最も影響の大きな行事と考えられる。

人格への影響						
	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3
大いにある	16%	13%	23%	28%	28%	45%
少しはある	56%	54%	50%	40%	47%	38%
あまりない	22%	27%	21%	23%	16%	9%
全然ない	6%	6%	6%	8%	10%	8%

高校3年生の「大いにある」45%がきわだっている。中学1・2年生と中学3年生・高校1・2年生との「大いにある」には開きがあって、中学1・2年生には主体性積極性が不足しているからであろう。

人格形成の内容		文化祭				
	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3
計画性	13%	11%	11%	14%	11%	13%
説得力	6 %	4 %	4 %	4 %	12%	6 %
企画力	11%	13%	11%	11%	8 %	10%
創造性	11%	10%	10%	9 %	7 %	9 %
忍耐力	7 %	10%	11%	10%	11%	18%
責任感	18%	15%	17%	15%	16%	17%
リーダーシップ	6 %	6 %	8 %	8 %	9 %	7 %
やり抜く力	17%	17%	12%	12%	11%	10%
調整力	7 %	9 %	8 %	11%	8 %	7 %
その他	5 %	5 %	8 %	6 %	8 %	3 %

(2) 音楽祭

通例 6 月の中旬に行っている。学校を離れて音響設備の整ったホールを借りて行う。学級単位の合唱コンクールの形をとって、審査員には本校音楽科の専任教師だけでなく、外から招いて指揮者、作曲家にもお願いする。それだけに生徒も熱がはいる。中学高校ともに 2 曲歌うが、中学生は 1 曲を共通の課題曲としてある。高校生は 2 曲の自由曲を歌う。審査時間を必要とする関係からも、特別参加の時間を設けてあるが、個人の楽器演奏が圧倒的に多い。

全校的運営は文化祭同様実行委員会が行う。顧問教官同行承認の上、会場との調整、会場機器の操作、録音まで生徒が行う。

人格への影響 音楽祭						
	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3
大いにある	14%	11%	18%	13%	20%	15%
少しはある	46%	38%	45%	37%	32%	38%
あまりない	33%	43%	25%	30%	28%	25%
全然ない	7 %	8 %	13%	20%	21%	23%

学級単位の参加であるので、選曲も合唱練習も全員が揃う必要が生ずる。従ってそれなりに強制されさばり難いので、協調感連帯感が高まって生徒間に与える影響は小さくないと思えるのであるが、「大いにある」「少しはある」の二者を足しても中学 3 年生の 63% が最高で中学 2 年生では 50% に達しない。

人格形成の内容 音楽祭						
	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3
計画性	7 %	3 %	6 %	9 %	7 %	9 %
説得力	4 %	3 %	7 %	6 %	5 %	4 %
企画力	5 %	5 %	3 %	7 %	5 %	4 %
創造性	6 %	7 %	8 %	7 %	7 %	5 %
忍耐力	9 %	19%	16%	18%	15%	21%
責任感	17%	14%	16%	19%	18%	17%
リーダーシップ	8 %	8 %	8 %	8 %	11%	7 %
やり抜く力	26%	25%	23%	17%	17%	13%
調整力	11%	7 %	7 %	4 %	11%	9 %
その他	8 %	9 %	6 %	5 %	5 %	12%

上記のように、担任指導を含めてそれなりに強制される意識を持ち、さぼり難い活動実態であるのからであろうか、文化祭・校外指導に比べて「やり抜く力」の回答が多い。

指揮者、伴奏者の他に、4部合唱なので各パートリーダーがおり、また学級によっては指揮者伴奏者が2人の場合もある。この点から、役割に応じて細かいアンケート調査が必要だったと感じている。

(3) 校外指導

宿泊地の選定を除いては、生徒主体の旅行委員会が中心となって進める。

5月の20日を含む週に行っている。中学1年生は3泊4日で群馬県武尊。武尊山山行を中心として学級作り。中学2年生は1泊か日帰り2日かで調査研究（フィールドワーク）。3年次の予備的活動の意味もある。ここ数年は東京の地域研究。中学3年生は3泊の修学旅行であるが、岩手県を中心とした調査研究（フィールドワーク）。高校1年生は3泊4日で長野県菅平。四阿山山行、スポーツ大会による学級作り。高校2年生は4泊の修学旅行。学級を外して4～6人の任意の班で事前に行動予定表を作り、旅行委員会と其の顧問教官との承認を得て自由行動。高校3年生は在校。

人格への影響 校外指導						
	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3
大いにある	22%	14%	17%	22%	18%	
少しはある	60%	58%	51%	51%	49%	
あまりない	47%	23%	24%	23%	19%	
全然ない	2 %	5 %	8 %	4 %	14%	

「大いにある」と「少しはある」とを足すとどの学年でも65%を越えている。

人格形成の内容 校外指導						
	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3
計画性	13%	23%	20%	16%	18%	
説得力	3 %	4 %	5 %	5 %	5 %	
企画力	10%	15%	17%	8 %	15%	
創造性	5 %	5 %	6 %	7 %	6 %	
忍耐力	12%	4 %	12%	14%	10%	
責任感	22%	20%	14%	17%	15%	
リーダーシップ	8 %	5 %	3 %	5 %	9 %	
やり抜く力	15%	9 %	8 %	9 %	5 %	
調整力	8 %	11%	11%	10%	11%	
その他	5 %	7 %	6 %	8 %	7 %	

どの学年でも「計画性」が2桁を越えるのは当然のことと思われるが、「責任感」がどの学年でも2桁を越えている。高校2年生だけでなくどの学年も実際の活動中は班別になるからであろうか。

中学1年生の「やり抜く力」は入学早々ということもあろうが、体力に乏しい1年生にとって山行はきつく感じられるのであろう。大いに問題である。

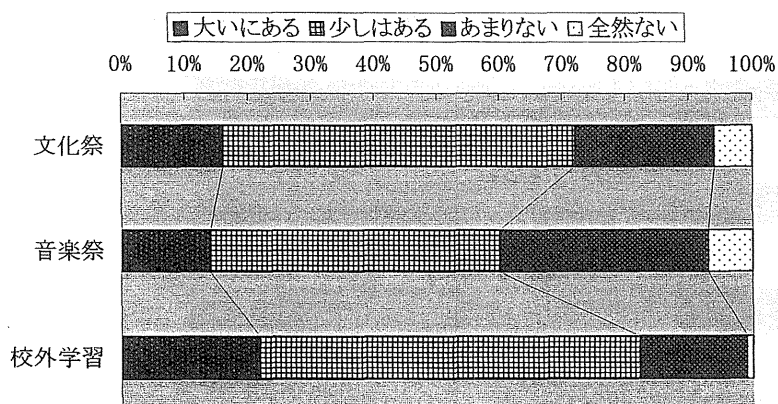
中学2年生の「忍耐力」高校2年生の「企画力」の乏しさにも大いに問題がある。

3. 各学年ごとの行事と人格形成に及ぼす影響との関連アンケート集計

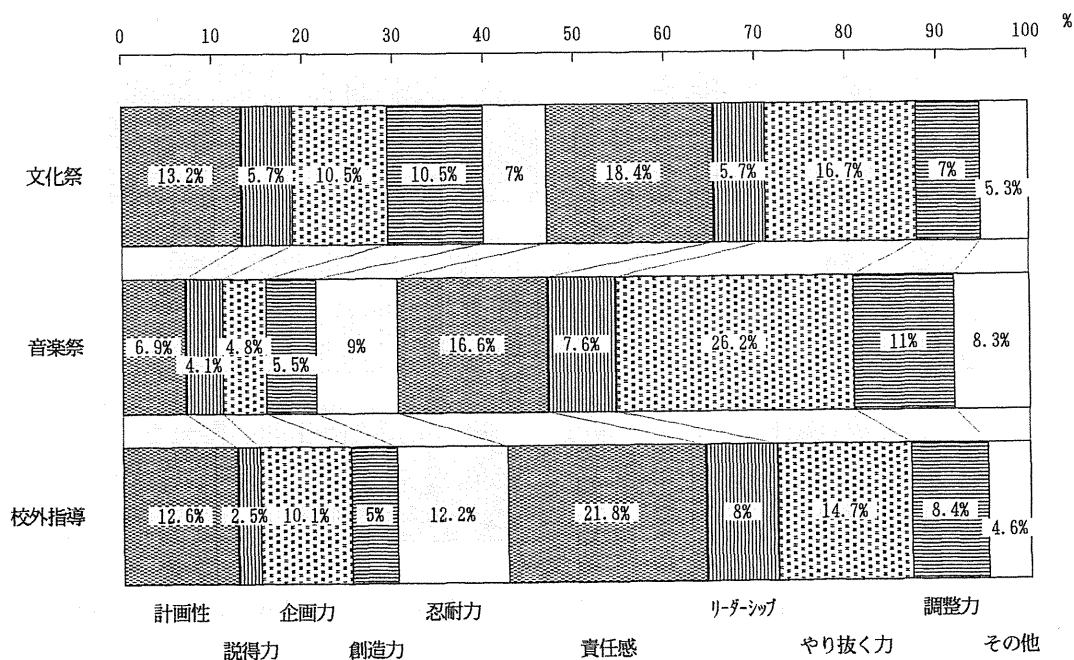
(1) 中学1年生

① 人格形成への影響

人格形成への影響 中1				
	大いにある	少しはある	あまりない	全然ない
文化祭	16%	56%	22%	6%
音楽祭	14%	46%	33%	7%
校外学習	22%	61%	17%	1%



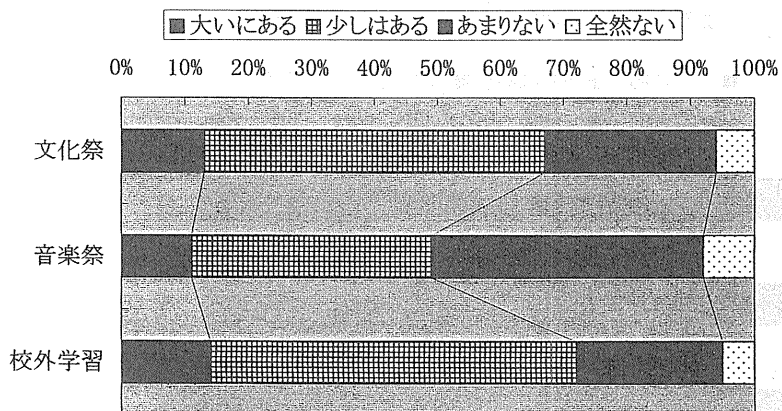
② 人格形成の内容



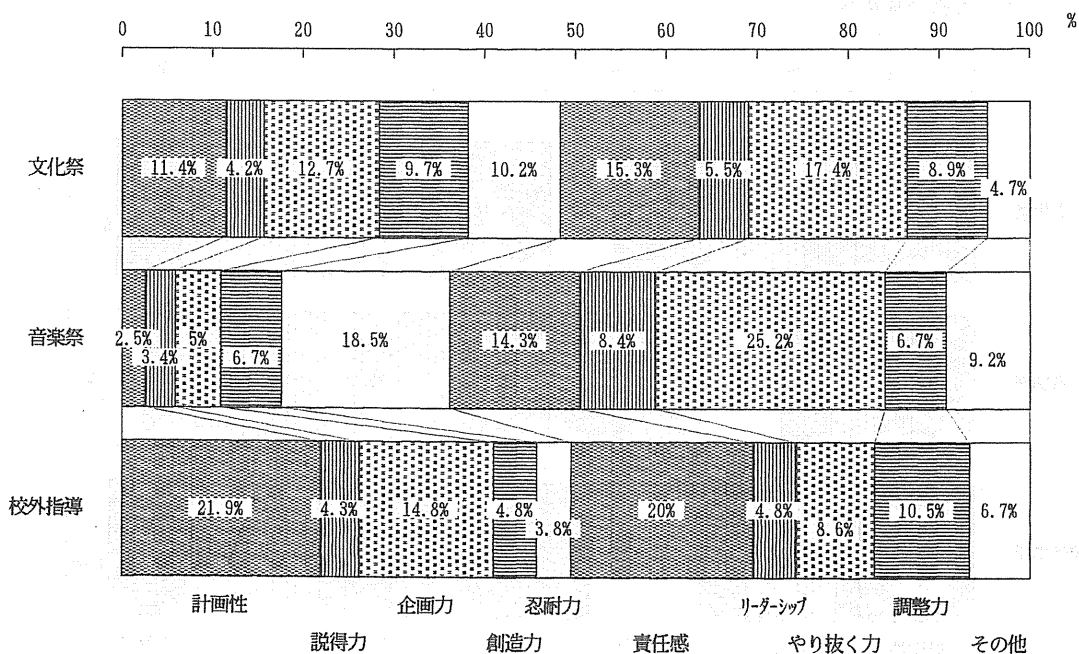
(2) 中学2年生

① 人格形成への影響

人格形成への影響 中2				
	大いにある	少しはある	あまりない	全然ない
文化祭	13%	54%	27%	6%
音楽祭	11%	38%	43%	8%
校外学習	14%	58%	23%	5%



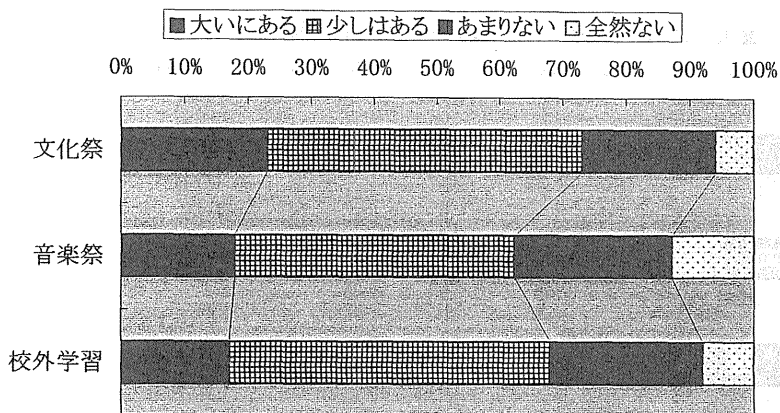
② 人格形成の内容



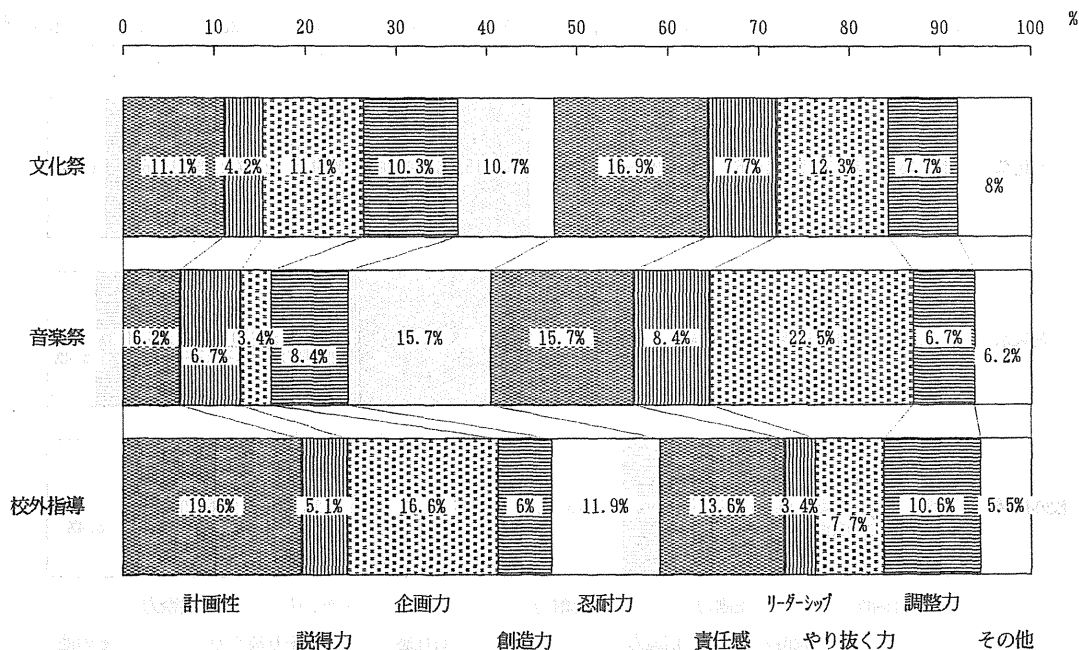
(3) 中学3年生

① 人格形成への影響

人格形成への影響 中3				
	大いにある	少しはある	あまりない	全然ない
文化祭	23%	50%	21%	6%
音楽祭	18%	45%	25%	13%
校外学習	17%	51%	24%	8%



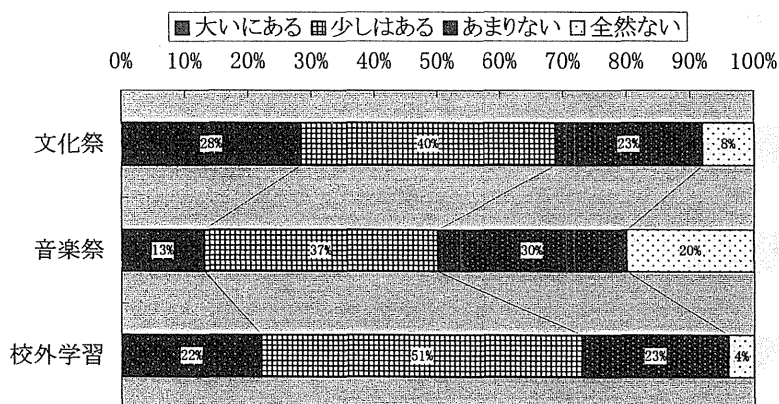
② 人格形成の内容



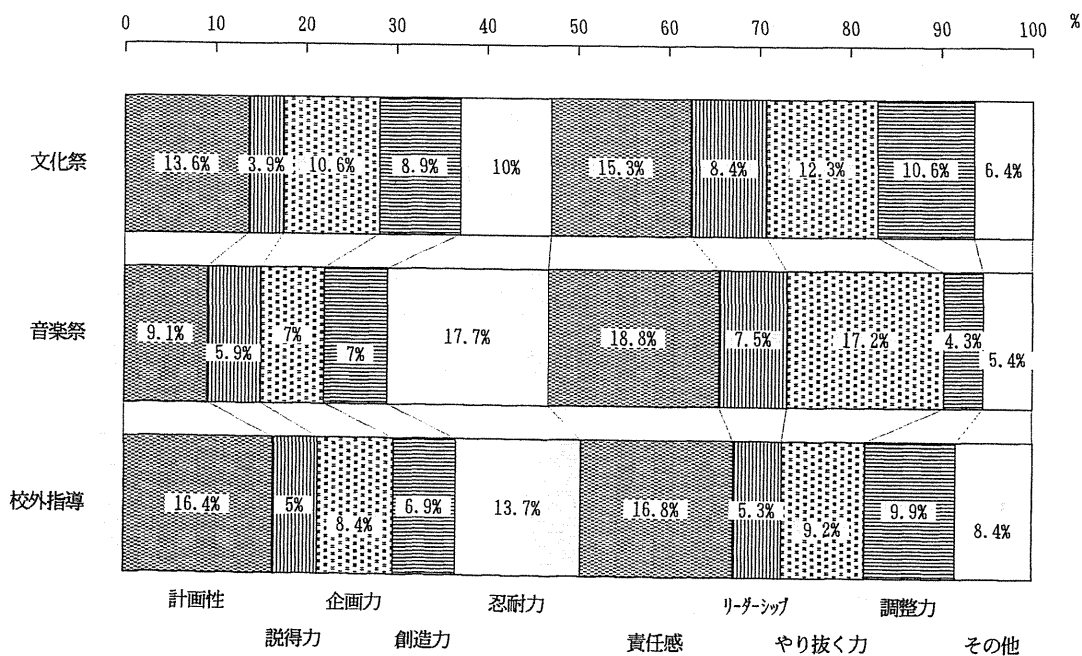
(4) 高校1年生

① 人格への影響

人格形成への影響 高1				
	大いにある	少しはある	あまりない	全然ない
文化祭	28%	40%	23%	8%
音楽祭	13%	37%	30%	20%
校外学習	22%	51%	23%	4%



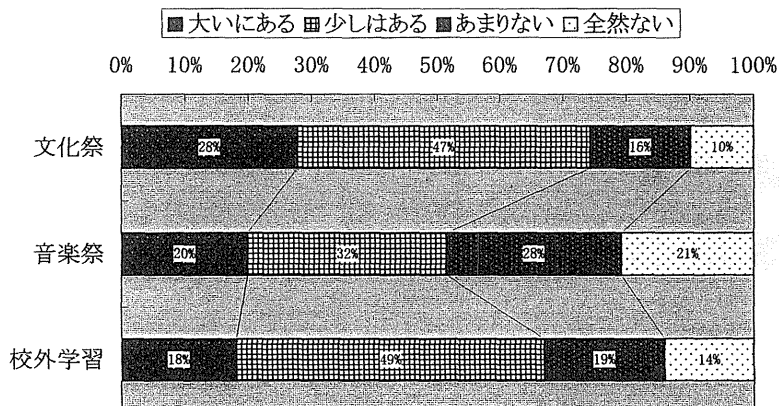
② 人格形成の内容



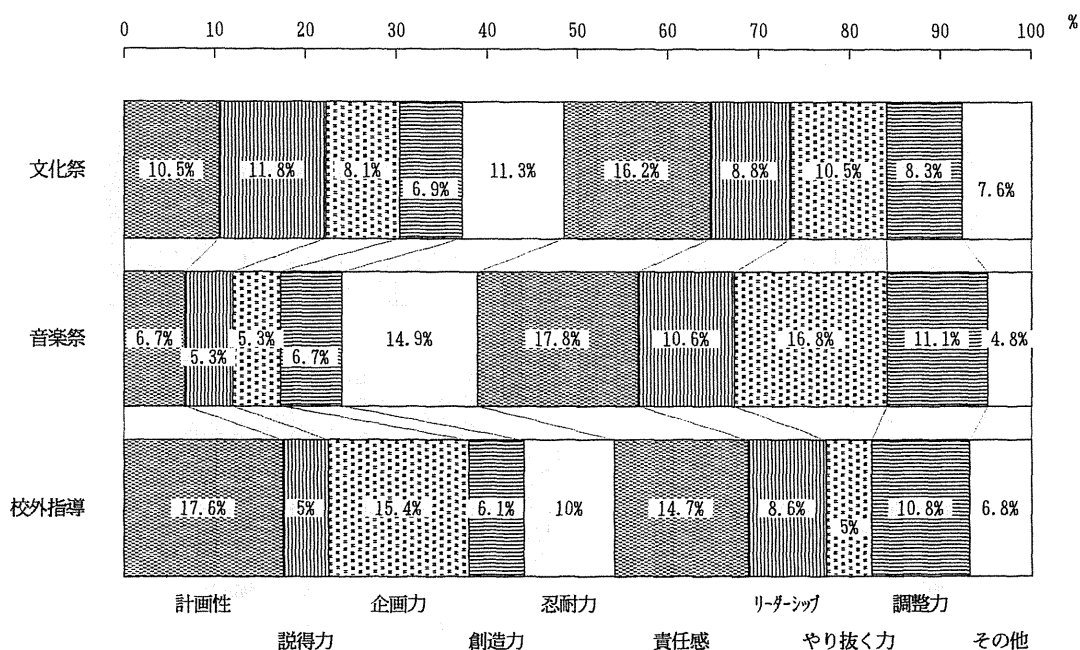
(5) 高校2年生

① 人格形成への影響

人格形成への影響 高2				
	大いにある	少しはある	あまりない	全然ない
文化祭	28%	47%	16%	10%
音楽祭	20%	32%	28%	21%
校外学習	18%	49%	19%	14%



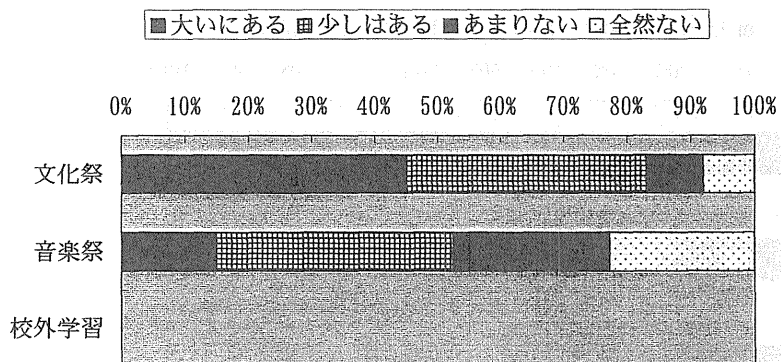
② 人格形成の内容



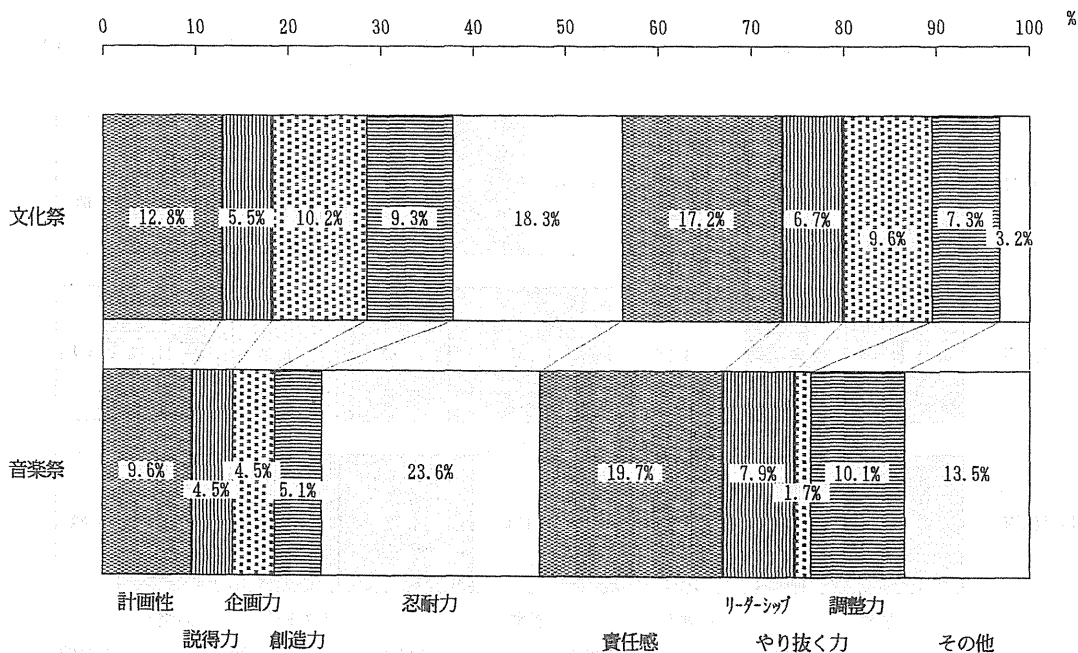
(6) 高校3年生

① 人格形成への影響

人格形成への影響 高3				
	大いにある	少しはある	あまりない	全然ない
文化祭	45%	38%	9%	8%
音楽祭	15%	38%	25%	23%



② 人格形成の内容



4. 課題

今回のアンケート調査から第一に感ずるのは、もちろん、このような調査に対する生徒の回答は割り引いて受け取るべきではあろうが、現場で指導に当たっている実感とは微妙にずれがありそうだということである。好意的回答が多ように思われる。それとも、変質している生徒の実感からは概ね生徒自身の実態に即しているのであろうか。

生徒は明らかに変質してきている。肉体的にも精神的にも変質している。

肉体的変質には驚くばかりである。まずは授業中の姿勢が悪い。姿勢を正しく聴講する事のできない生徒が少なくない。肘をついたり、足を横に出したり、俯せたりする生徒が少なくない。注意する中で聞いてみると、日常、家で勉強する時にも同じであると言う。生活のだらしなさがのみが原因ではなく、筋力を含めた体力そのものに問題があると考えざるを得ない。中学1年生の武尊山行において其の弱さがよく現れて見える。中には体育の授業中にしゃがみこむ生徒がいる。在校しているときだけでなく、家庭での食生活を含めて指導してゆかなければならなくなってきた。

精神的変質は言をまたない。特に問題と感ずるのは、集団の中における個としての意識、他者への配慮に欠けていることである。また其のことに気づいていないことである。気づかないのであって悪意からそうしている訳ではないようである。周りにいる生徒も其のことを特段には問題とは感じていないようである。そこで人間関係は希薄になる。

かかる生徒が確実に増えてゆくであろう時代に学校行事をどのように組み立ててゆくかは重大な問題である。本校の行事で言えば、校外指導の他、体育祭も肉体的強化に繋がる面を有する行事であり、校外指導体育祭文化祭音楽祭のどの行事も他者との関わり抜きには活動し得ない。健全な肉体と己を強く持して他者への配慮ある精神とを養うには、集団としての学校という場の役割は大きい。其の中でも学校行事は特に集団性の高い活動であり、象徴的典型的なものである。週休2日制、それに伴う学習指導要領の改変により授業数が減ってゆく中で、学校行事をどのように生かしてゆくのか。上記の重要性から言えば、単純に比例減少させるのは考えものである。授業との関連を深めながらより有効な方策を考えてゆくべきであろう。